

# 福井の民話で創作劇

自然豊かな福井市東部の上味見地区に招かれている県外の子どもたちが、地域に伝わる民話を基にした芝居を制作、発表する「伊自良劇場」が十六日、同市中手町の伊自良館で開かれる。台本から小道具まで自分たちで用意するというこだわりで、本番では細部にわたって観客の目を楽しませてくれそうだ。

上味見地区に招待の県外児童ら

## あす伊自良館で発表

### 台本、小道具 すべて用意

法人)「自然体験共学センター」が、文部科学省から事業の委嘱を受けて今回初めて開催。事業は十日から一週間、泊まり込みで生活しながら食事を作ったり、お年寄りと交流したりする内容で、芝居の発表はそのフィナーレに当た

る。参加しているのは公募で集まった関西方面の小中学生十五人。芝居では子どもたちは三班に分かれ、近くの

神当部という地区に伝わるいたずらキツネや戦の邪魔をしたキュウリなどの民話を基に物語を制作する。

主な衣装は地域のお年寄りに借りるが、小道具のお面やキュウリは手作り、せりふも自分たちで考えているという。同センターは「見どころは古くから伝わる民話を、県外の子が現代風の言葉で再現するところ」と話している。

本番は午後二時から。問い合わせは同センターへ。電話0776(93)2013へ。(小柳保志)

「生きる力」や「心の豊かさ」の育成を応援

している地元の特定非営利活動法人(NPO)